

塩尻市過疎地域自立促進計画

平成17年度～平成21年度

長野県塩尻市

目 次

はじめに	1
1 趣 旨	1
2 対象地域	1
第 1 基本的な事項	2
1 檜川地区の概況	2
(1) 自然的・歴史的・社会経済的諸条件の概要	2
(2) 過疎の状況	3
(3) 社会経済的発展の方向	3
2 人口及び産業の推移と動向	4
3 行財政の状況	7
(1) 塩尻市の財政状況	7
(2) 旧檜川村の財政状況	7
(3) 公共施設の状況	8
4 地域の自立促進の基本方針	9
(1) 過疎対策の成果と課題	9
(2) 自立促進の基本的方向	10
5 計画期間	11
第 2 新たな住民自治の推進	12
1 地域自治	12
2 市民公益活動	12
3 集落整備	13
4 計 画	13
第 3 産業の振興	14
1 農林業	14
2 商工業・地場産業	14
3 観光	15
4 計 画	16
第 4 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	17
1 道路	17

2	交通	17
3	情報化	18
4	地域間交流	19
5	計 画	19
第 5	生活環境の整備	20
1	水道施設	20
2	下水処理施設	20
3	ごみ、し尿、一般廃棄物の処理	21
4	消防施設	21
5	住環境	22
6	安全なまちづくりの推進	22
7	計 画	23
第 6	高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	24
1	保健	24
2	高齢者福祉	24
3	児童福祉	25
4	障害者福祉	25
5	計 画	26
第 7	医療の確保	27
1	医療	27
2	計 画	27
第 8	教育の振興	28
1	子ども教育	28
2	生涯学習	28
3	社会体育	29
4	計 画	29
第 9	地域文化の振興	30
1	地域文化	30
2	計 画	31

はじめに

1 趣 旨

塩尻市は、平成 17 年 4 月 1 日に木曾郡榑川村と合併しました。

これにより、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域であった榑川地区（旧木曾郡榑川村の区域をいいます。以下同じ。）は、同法第 33 条第 2 項の規定により過疎地域とみなされ、同法の規定が適用されることとなります。

この計画は、過疎地域自立促進特別措置法第 6 条第 1 項の規定により、長野県過疎地域自立促進方針に基づき、必要な事項を定めるものです。

2 対象地域

この計画は、榑川地区を対象として定めます。

第 1 基本的な事項

1 檜川地区の概況

(1) 自然的・歴史的・社会経済的諸条件の概要

ア 自然的条件

塩尻市は、長野県のほぼ中央に当たる松本盆地の南端に位置し、東西 17.7 km、南北 37.8 km、総面積は 290.18 km²であり、市内には信濃川水系と天竜川水系それぞれに属する河川が流れ、塩尻峠や善知鳥峠、鳥居峠などは、太平洋と日本海を隔てる中央分水嶺を形成しています。

この中で檜川地区は、市の南西部に位置し、東西 8.5 km、南北 26.8 kmと南北に細長い形状で、面積は 117.82 km²と全市域の約 40%を占めています。中央アルプス最北端の茶臼山(標高 2,653 m)を源流として南北に貫流する奈良井川は、信濃川水系に属し、西は鳥居峠で木曾川水系と、東は権兵衛峠で天竜川水系と、それぞれ中央分水嶺を形成しています。

気候は内陸性気候で寒暖の差が大きく、年間降雨量は約 2,000 mmであり、下流域への豊かで安定した水源となっています。

イ 歴史的条件

奈良時代以降、檜川地区は木曾古道の沿道でしたが、江戸時代初頭の宿駅制度により中山道が整備され、それを機に奈良井と贄川に宿場が置かれました。贄川宿には、福島関所の副関として贄川関所が置かれ、奈良井宿は、宿場の後方に中山道最大の難所と言われた鳥居峠を控えていたため、峠越えに備え、また、峠を越えて来た旅人の休息の場として栄え、木曾街道 11 宿の中では「奈良井千軒」と謳われる最大の宿場であったと言われます。

明治 4 年の廃藩置県が布告された当時は、それぞれの宿場を中心として、奈良井村と贄川村に分かれていましたが、明治 22 年の市制町村制施行に伴い両村が合併し、西筑摩郡檜川村となりました。以来、塩尻市に編入合併した平成 17 年までの百十余年間、木曾地域を構成する村として、独立した自治体を営んできました。

ウ 社会経済的條件

塩尻市は古くから交通の要衝で、JR 中央東線、中央西線及び篠ノ井線が通過し、長野自動車道のほか、国道 19 号、20 号、153 号及び 361 号が通過して、分岐点にもなっています。

檜川地区では、国道 19 号が南北に貫通し、地区の南部を国道 361 号が横切っていて、平成 17 年度には高規格道路の伊那木曾連絡道路が

完成する予定です。鉄道は、JR中央西線が国道19号と並行して走り、地区内に3駅を有しています。

急峻な山が迫り平坦地が少ないため、人口の約90%が標高800m～950mの贄川、平沢、奈良井の三つの集落に集中し、他の集落は小規模で、標高800m～1,300mに散在しています。

産業は、木曽の優良な山林資源を活用した木材関連の地場産業が中心で、特に漆器の生産は全国でも有数であり、日本を代表する伝統的工芸品産地になっています。また、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された奈良井宿の町並みなど、街道を生かした観光も基幹産業の一つに育っています。これら地域資源を生かした産業のほかは、雇用の場が少なく、市の中心部や松本市などへの通勤者が多くなっています。

(2) 過疎の状況

昭和25年の国勢調査人口5,567人をピークに、緩やかに人口流出が続いたものの、漆器産業に支えられて昭和55年頃までは4千数百人前後の人口で推移してきました。しかし、生活様式の変遷による漆器離れに加え、昭和50年代のオイルショックを契機に地場産業が低迷期に入り、特にバブル経済崩壊後は過疎化傾向に拍車がかかり、平成4年には4千人を下回りました。平成7年の国勢調査人口は3,755人となり、平成9年に過疎地域として公示され、平成12年の国勢調査人口は3,619人で、現在も人口の減少が続いています。

また、高齢者比率は、昭和40年代に総人口の10%を超え、平成12年国勢調査では27.8%、平成16年10月1日現在では30.1%(長野県毎月人口異動調査)となり、高齢化が急速に進んでいます。

(3) 社会経済的発展の方向

バブル経済崩壊後の長引く景気低迷、産業構造の変化、地方分権の進展などにより、地方を取り巻く社会経済情勢も大きく変化しています。

檜川地区の伝統的工芸品を中心にした地場産業の就労人口は、最盛期に比べ激減していて、他産業への転換も困難なことから、地区外への転職や離職が増加しています。また、過疎対策事業などにより基礎的な生活基盤の整備は進んできましたが、過疎化傾向は依然続いている状況にあります。

このような状況にあっては、地域の資源を最大限に生かし、発展するための施策を推進していくことが求められます。

美しく風格ある地域社会の形成に寄与し、自然豊かで安全な環境や資源循環型経済、人間性の回復が求められる時代において、水資源や環境にやさしい伝統工芸技術、古い宿場の町並みなど、これらの地域資源を構造改革特別区域計画及び地域再生計画の活用などにより、有機的に連携させ、発信し、どのように地域の再生を果たしていくかが、社会経済的発展のための重要な課題になります。

2 人口及び産業の推移と動向

国勢調査による檜川地区の人口推移を見ると、昭和35年の5,247人が平成12年は3,619人となり、40年間で1,628人(31.0%)減少しています。また、昭和60年から平成7年までの10年間の減少率14.1%に対し、平成12年までの15年間の減少率は17.2%となり、特に近年になって過疎化が著しく進んでいます。

年齢別の人口推移では、昭和35年から平成12年までの40年間を比較すると、年少人口(0~14歳)は1,543人から352人へと1,191人(77.2%)減少し、生産年齢人口(15~64歳)も、3,131人から2,262人へと869人(27.8%)減少しています。一方、老年人口(65歳以上)は573人から1,005人へと432人(75.4%)増加し、少子高齢化が進んでいます。なお、コーホート(同一年齢に属する出生者集団)法による将来推計人口では、今後も人口の減少と少子高齢化が続き、平成27年の檜川地区の人口は3千人を下回るものと予測されます。

人口が減少する一方、世帯数は、昭和35年の1,134世帯が平成12年は1,162世帯に微増し、この間、一世帯当たり世帯員数は4.6人から3.1人へと減少していて、核家族化や高齢者世帯の増加傾向を示しています。

産業別就業人口の推移では、昭和35年に26.5%であった第一次産業は、高度経済成長期を経て著しく減少し、平成12年に1.7%となる一方、第二次産業は45.4%が55.9%に、第三次産業は28.1%が42.2%にそれぞれ増加し、農業に適さない地理的条件、林業従事者の流出、伝統的工芸品産業の発展など、地区の特性や社会経済情勢が反映されています。

表1-1(1)(檜川地区) 人口の推移(国勢調査)

区分	昭和35年		昭和40年		昭和45年		昭和50年		昭和55年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	5,247		5,009	4.5	4,848	3.2	4,870	0.5	4,706	3.4
0歳~14歳	1,543		1,281	17.0	1,091	14.8	1,111	1.8	1,015	8.6
15歳~64歳	3,131		3,327	6.3	3,347	0.6	3,270	2.3	3,097	5.3
うち15歳~29歳(a)	1,261		1,184	6.1	1,173	0.9	964	17.8	803	16.7
65歳以上(b)	573		401	30.0	410	2.2	489	19.3	594	21.5
a/総数 若年者比率	24.0		23.6	-	24.2	-	19.8	-	17.1	
b/総数 高齢者比率	10.9		8.0	-	8.5	-	10.0	-	12.6	

区分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	4,369	7.2	4,089	6.4	3,755	8.2	3,619	3.6
0歳~14歳	873	14.0	654	25.1	491	24.9	352	28.3
15歳~64歳	2,811	9.2	2,659	5.4	2,390	10.1	2,262	5.4
うち15歳~29歳(a)	721	10.2	707	1.9	630	10.9	593	5.9
65歳以上(b)	683	15.0	776	13.6	874	12.6	1,005	15.0
a/総数 若年者比率	16.5	-	17.3	-	16.8	-	16.4	-
b/総数 高齢者比率	15.6	-	19.0	-	23.3	-	27.8	-

表 1 - 1 (1) (市域全体) 人口の推移 (国勢調査)

区 分	昭和35年		昭和40年		昭和45年		昭和50年		昭和55年	
	実 数	人	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %
総 数	43,818	人	44,306	1.1	47,113	6.3	52,291	11.0	57,417	9.8
0歳～14歳	12,641	人	10,685	15.5	10,692	0.1	12,083	13.0	13,373	10.7
15歳～64歳	27,907	人	30,120	7.9	32,338	7.4	35,144	8.7	37,871	7.8
うち15歳～29歳(a)	10,511	人	11,200	6.6	11,572	3.3	11,580	0.1	11,123	3.9
65歳以上(b)	3,270	人	3,501	7.1	4,083	16.6	5,064	24.0	6,173	21.9
a/総数 若年者比率	24.0	%	25.3	-	24.6	-	22.1	-	19.4	-
b/総数 高齢者比率	7.5	%	7.9	-	8.7	-	9.7	-	10.8	-

区 分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %	実 数	増減率 %
総 数	60,329	5.1	61,420	1.8	64,236	4.6	67,747	5.5
0歳～14歳	13,107	2.0	11,387	13.1	10,346	9.1	10,187	1.5
15歳～64歳	40,040	5.7	41,363	3.3	43,317	4.7	44,947	3.8
うち15歳～29歳(a)	11,522	3.6	12,382	7.5	13,573	9.6	13,606	0.2
65歳以上(b)	7,180	16.3	8,670	20.8	10,572	21.9	12,613	19.3
a/総数 若年者比率	19.1	-	20.2	-	21.1	-	20.1	-
b/総数 高齢者比率	11.9	-	14.1	-	16.5	-	18.6	-

表 1 - 1 (2) (檜川地区) 人口の推移 (住民基本台帳)

区 分	平成12年3月31日		平成16年3月31日		
	実 数	構成比 %	実 数	構成比 %	増減率 %
総 数	3,556	-	3,363	-	5.4
男	1,717	48.3	1,622	48.2	5.5
女	1,839	51.7	1,741	51.8	5.3

表 1 - 1 (2) (市域全体) 人口の推移 (住民基本台帳)

区 分	平成12年3月31日		平成16年3月31日		
	実 数	構成比 %	実 数	構成比 %	増減率 %
総 数	65,542	-	66,848	-	2.0
男	32,584	49.7	33,276	49.8	2.1
女	32,958	50.3	33,572	50.2	1.9

表 1 - 1 (2 - 2) (檜川地区) 将来推計人口

区 分	基準年		予 測 年					
	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
檜川区域の 総人口	人 3,619 (67,747)		人 3,419 (69,449)		人 3,199 (70,031)		人 2,947 (69,791)	
男	1,732 (33,636)		1,656 (34,394)		1,571 (34,615)		1,464 (34,433)	
女	1,887 (34,111)		1,762 (35,054)		1,628 (35,416)		1,482 (35,358)	
0歳～14歳 年少人口比率	人 352 (10,187)	% 9.7 (15.0)	人 300 (10,113)	% 8.8 (14.6)	人 253 (9,825)	% 7.9 (14.0)	人 212 (9,064)	% 7.2 (13.0)
15歳～64歳 生産年齢比率	2,262 (44,947)	62.5 (66.3)	2,017 (44,951)	59.0 (64.7)	1,760 (43,937)	55.0 (62.7)	1,506 (42,417)	51.1 (60.8)
65歳以上 高齢者比率	1,005 (12,613)	27.8 (18.6)	1,102 (14,385)	32.2 (20.7)	1,185 (16,268)	37.0 (23.2)	1,229 (18,310)	41.7 (26.2)

区 分	伸び率(%)		
	H17/H12	H22/H17	H27/H22
檜川区域の 総人口	5.53 (2.51)	6.41 (0.84)	7.89 (0.34)
男	4.36 (2.25)	5.15 (0.64)	6.79 (0.52)
女	6.61 (2.77)	7.60 (1.03)	8.96 (0.16)
0歳～14歳 年少人口比率	14.65 (0.73)	15.62 (2.84)	16.19 (7.75)
15歳～64歳 生産年齢比率	10.85 (0.01)	12.70 (2.26)	14.47 (3.46)
65歳以上 高齢者比率	9.62 (14.05)	7.61 (13.09)	3.66 (12.55)

コーホート要因法による。平成12年数値は国勢調査による実数
() 内数字は、檜川地区を含めた市域全体の数値

表 1 - 1 (3) (檜川地区) 産業別人口の推移 (国勢調査)

区 分	昭和35年		昭和40年		昭和45年		昭和50年		昭和55年	
	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率
総 数	人 2,215	% 4.0	人 2,303	% 16.2	人 2,675	% 0.2	人 2,669	% 0.1	人 2,665	% 0.1
第一次産業 就業人口比率	% 26.5	% -	% 16.0	% -	% 8.3	% -	% 4.0	% -	% 3.2	% -
第二次産業 就業人口比率	% 45.4	% -	% 54.8	% -	% 60.4	% -	% 52.6	% -	% 56.4	% -
第三次産業 就業人口比率	% 28.1	% -	% 29.2	% -	% 31.3	% -	% 43.3	% -	% 40.3	% -

区 分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率
総 数	人 2,350	% 0.1	人 2,300	% 2.1	人 2,179	% 5.3	人 2,006	% 5.3
第一次産業 就業人口比率	% 3.5	% -	% 2.3	% -	% 1.7	% -	% 1.7	% -
第二次産業 就業人口比率	% 57.4	% -	% 52.3	% -	% 55.9	% -	% 55.9	% -
第三次産業 就業人口比率	% 39.1	% -	% 45.0	% -	% 42.2	% -	% 42.2	% -

表 1 - 1 (3) (市域全体) 産業別人口の推移 (国勢調査)

区 分	昭和35年			昭和40年		昭和45年		昭和50年		昭和55年	
	実 数		増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率
総 数	人 22,663	人 24,054	% 6.1	人 27,422	% 14.0	人 28,318	% 3.3	人 30,507	% 7.7		
第一次産業 就業人口比率	% 50.1	% 39.8	-	% 30.5	-	% 23.4	-	% 19.0	-		
第二次産業 就業人口比率	% 24.2	% 31.5	-	% 38.1	-	% 38.8	-	% 41.1	-		
第三次産業 就業人口比率	% 25.7	% 28.7	-	% 31.4	-	% 37.7	-	% 39.8	-		

区 分	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率	実 数	増減率
総 数	人 32,438	% 6.3	人 33,408	% 3.0	人 36,641	% 9.7	人 37,421	% 2.1
第一次産業 就業人口比率	% 16.5	-	% 13.7	-	% 12.1	-	% 10.2	-
第二次産業 就業人口比率	% 42.5	-	% 42.0	-	% 39.8	-	% 38.4	-
第三次産業 就業人口比率	% 40.9	-	% 44.2	-	% 48.1	-	% 51.3	-

3 行財政の状況

(1) 塩尻市の財政状況

市税収入の低迷、三位一体の改革に伴う国庫補助負担金及び地方交付税の削減など、財源の確保がこれまで以上に厳しさを増す状況の中で、起債残高は平成15年度普通会計決算で236億円あり、今後、公債費の高い数値での推移に伴い、起債制限比率は、平成18年度から19年度にピークを迎えることが見込まれています。

極めて厳しい財政状況下においても、多様化する行政需要に対応するため、効率的な行政運営、受益者負担原則の確立、徹底した事業の選択と集中による財源の計画的・重点的・効果的配分などに心がけ、中長期を展望した予算管理や基金・起債等の適正管理による健全な財政運営を進めます。

(2) 旧檜川村の財政状況

旧檜川村の財政状況は、平成15年度普通会計決算額が2,158,393千円で、平成12年度決算額2,518,051千円より14.3%減少しています。村民税は、基幹産業である漆器業界の好転の兆しが見えず、法人税を中心に落込みが続き、依存財源の占める割合が、過去5年間平均で73%と高い状態が続きました。

また、平成15年度の経常収支比率は86.9%と高く、財政の硬直化

が進んでいました。

表 1 - 2 (1) (檜川地区) 市町村財政の状況

(単位 : 千円)

区 分	平成12年度	平成15年度
歳 入 総 額 A	2,582,957	2,238,110
一 般 財 源	1,662,871	1,284,702
国 庫 支 出 金	145,397	77,514
県 支 出 金	105,661	72,012
地 方 債	399,200	434,800
うち過疎債	194,800	170,000
そ の 他	269,828	369,082
歳 出 総 額 B	2,518,051	2,158,393
義 務 的 経 費	850,219	914,383
投 資 的 経 費	207,020	169,532
うち普通建設事業	207,020	169,532
そ の 他	972,267	890,250
過疎対策事業費	488,545	184,228
歳入歳出差引額 C (A - B)	64,906	79,717
翌年度へ繰越すべき財源 D	1,595	1,749
実質収支 C - D	63,311	77,968
財 政 力 指 数	0.237	0.271
公 債 費 負 担 比 率	17.9	22.5
起 債 制 限 比 率	10.9	11.7
経 常 収 支 比 率	80.9	86.9
地 方 債 現 在 高	3,658,982	4,217,017

表 1 - 2 (1 - 2) (檜川地区) 歳入に占める依存財源と普通交付税の割合

(単位 : 千円)

年 度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
歳入合計	2,789,566	2,582,957	2,342,798	2,415,858	2,238,110
うち依存財源	2,165,921	1,957,119	1,786,282	1,607,350	1,548,569
比 率	77.6%	75.8%	76.2%	66.5%	69.2%
うち普通交付税	1,099,506	1,062,782	973,963	869,423	794,528
比 率	39.4%	41.1%	41.6%	36.0%	35.5%

(3) 公共施設の状況

檜川地区の公共施設の整備状況は、集落が南北に長く、狭い谷筋に点在していることや、面積の95%が森林であることも影響し、市道(旧村道)の整備率が県内平均を大きく下回っています。

また、下水処理施設については、重点事業として整備を進めた結果、平成14年度には奈良井・平沢地区の特定環境保全公共下水道事業が、平成17年4月には、檜川地区の農業集落排水事業がそれぞれ完成し、地区内の計画区域全域が供用開始になりました。

地区内には、小学校2校と保育園2園があり、それぞれ統合が検討されています。統合時には、廃止することとなる校舎・園舎の有効活用が課題であり、地区の活性化に生かされる方策が模索されています。

表1-2(2)(檜川地区) 主要公共施設等の整備状況

区 分	昭和45年度末	昭和55年度末	平成2年度末	平成12年度末	平成14年度末	平成15年度末
村 道						
改良率 (%)	-	19.6	23.6	11.5	11.4	30.8
舗装率 (%)	26.1	51.7	55.7	51.3	50.3	50.4
耕地1ha当たり農道延長(m)	10.9	4.4	9.7	12.0	12.1	8.6
林野1ha当たり林道延長(m)	2.7	4.1	6.3	6.5	6.7	7.8
水道普及率 (%)	-	99.0	100.0	99.6	99.4	99.4
水洗化率 (%)	0.0	0.0	0.0	12.5	37.3	50.9
人口千人当たり病院、診療所の病床数 (床)	-	-	-	-	-	-
小 学 校						
危険校舎面積比率 (%)	-	12.6	55.0	0.0	0.0	0.0
中 学 校						
危険校舎面積比率 (%)	-	63.1	0.0	0.0	0.0	0.0

表1-2(2)(市域全体) 主要公共施設等の整備状況

区 分	昭和45年度末	昭和55年度末	平成2年度末	平成12年度末	平成14年度末	平成15年度末
市 道						
改良率 (%)	-	33.4	45.5	53.8	54.3	55.6
舗装率 (%)	17.5	58.1	77.8	83.1	83.2	83.4
耕地1ha当たり農道延長(m)	56.4	45.6	32.6	18.4	15.5	15.4
林野1ha当たり林道延長(m)	6.5	7.8	9.0	8.9	9.0	9.8
水道普及率 (%)	-	89.9	99.7	99.8	99.8	99.8
水洗化率 (%)	0.0	0.0	28.8	72.5	83.1	95.9
人口千人当たり病院、診療所の病床数 (床)	-	-	-	-	-	-
小 学 校						
危険校舎面積比率 (%)	-	31.7	7.4	0.0	0.0	0.0
中 学 校						
危険校舎面積比率 (%)	-	25.7	7.9	0.0	0.0	0.0

4 地域の自立促進の基本方針

(1) 過疎対策の成果と課題

平成9年に旧檜川村が過疎地域として公示されて以来、地域の活性化や自立促進に向け、積極的に過疎対策を講じてきました。

これにより、道路、下水などの生活環境基盤の整備が進み、住環境などが向上してきましたが、行政主導のまちづくりが中心であったことから、真に自立した地域として活力を取り戻すまでには至っていません。

まちづくりの主役である市民、企業、行政の三者が、これまでの役割を見直し、互いの特性を踏まえた上で、これから担うべき新しい役割について共通の認識を持ち、多様な主体の参加による柔軟で創造的なまちづくり

を推進していくことが求められます。

表 1 - 3 過疎対策事業費の状況

(単位：千円)

区 分	過疎地域活性化特別措置法 【H2～H11】			過疎地域自立促進特別措置法 【H12～H21】		
	H9～H11実績			H12～H16実績		
		構成比	過疎債		構成比	過疎債
1 産業の振興	612,457	18.9	242,400	698,833	15.4	206,800
2 交通通信体系の整備	771,440	23.8	410,900	1,152,778	25.4	763,800
3 生活環境の整備	1,284,293	39.6	212,200	2,239,589	49.3	489,300
4 高齢者の福祉その他の増進	323,130	10.0	48,000	0	0.0	0
5 医療の確保	0	0.0	0	79,690	1.8	76,100
6 教育文化の振興	197,974	6.1	30,000	109,339	2.4	0
7 地域文化の振興等	0	0.0	0	123,148	2.7	0
8 集落の整備	0	0.0	0	0	0.0	0
9 その他	53,369	1.6	0	136,021	3.0	0
合 計	3,242,663	100.0	943,500	4,539,398	100.0	1,536,000

(2) 自立促進の基本的方向

塩尻市が目指す都市像「ともに築く自立と創造の田園都市」の実現に向け、塩尻市・榑川村合併ビジョンの基本理念「街道と清流が育む、歴史と未来がきらめくまち」のもと、次に掲げるまちづくりの基本方針に基づき、榑川地区の持つ特性を尊重した個性あふれる自立したまちづくりを推進することにより、塩尻市の一体的な発展を図ります。

< 榑川地区のまちづくりの基本方針 >

安心安全の確立

～ 災害や事故が少ない、いざという時にも暮らしが守られるまち ～

ア 生活環境の整備・防災対策の推進

塩尻・木曾・伊那の交流機能の充実を目指し、公共交通の利便性の向上や、国道19号と県道の整備促進、生活道路の整備を進めます。

また、住民が安全で安心して生活を営むことができるよう、情報通信基盤の整備を進め、事故や災害などの緊急事態に対応できる救急・医療体制や消防力の向上、防災体制の強化や交通安全対策の推進を図ります。

イ 保健・福祉

高齢者、障害者及び母子等の保健・福祉の充実のため、サービス施策の推進を図り、住民が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

歴史・自然との共生

～ 自然体験、歴史文化など豊かな環境の中で豊かに暮らせるまち ～

ア 人材の育成・文化の保全

地域の自然や歴史と伝統に誇りを持ち、生きがいのある充実した生涯学習活動を通じ、地域社会を長く継承し、守り育てるための人材の育成に努めます。

また、地域の特色を生かした学校教育の推進、市民の主体的な学習や文化活動を促進し、豊かな自然や歴史的町並み、伝統工芸など、文化資産を活用した交流学习の機会を創出し、歴史的文化資産の保存・継承を図っていきます。

イ 環境保全

広大な森林資源の保全を市の主要施策に位置付け、上下流交流事業等を通じた森林整備のための財源確保や水源かん養のための森林育成に努め、豊かな水を育む美しい自然環境を守り育てていきます。

新たなまちづくりへの挑戦

～ 地域の文化、産業などの資源を生かし、市民が活発に活動するまち ～

ア 産業振興

檜川地区の基幹産業である木曾漆器等を始めとした特色ある地場産業の振興、大きな観光拠点となる奈良井宿を始め、点在する観光資源を有効活用した観光の振興など、各種産業の振興策を行うとともに、各産業間の連携による新産業分野の創造や起業家の育成など、新たな視野を持って産業の活性化に取り組みます。

イ まちづくりの推進

地域自治組織の再構築を支援し、コミュニティ活力の維持を図り、地域社会の活力の創出と自立促進に努めます。

ウ 行財政の効率化

合併によるメリットを最大限に活用し、この機会を捉えて事務事業の見直しや整理統合を行い、行財政のスリム化を図る中で、選択と集中の実践による一層の効率化を目指します。

また、檜川地区において、迅速なサービスが図られるよう、庁舎間の情報ネットワークを整備し、市民生活の利便性の向上に努めます。

5 計画期間

この計画の期間は、平成17年度から平成21年度までの5か年とします。

第2 新たな住民自治の推進

1 地域自治

(現況と問題点)

これまでのまちづくりは、行政があらゆる公共サービスを担い、住民はサービスの顧客という構図のもとに展開してきました。しかし、多様化・複雑化する住民のニーズに対して、行政だけでは対応できない時代を迎えています。

区を始めとする地域の自治組織は、生活に密着した様々な課題に包括的に取り組み、住民自治、相互扶助などにおいて、非常に大きな役割を果たしてきています。

塩尻市との合併により、旧榑川村が榑川地区となり、18区が3区に統合され、従来の区が町会として再編されました。自治体を取り巻く環境が大きく変化し、自立した地域自治が求められている中で、さらなる組織改革の検討や、意識啓発、財政基盤の強化など、地域自治を活性化するための自主的・主体的な取り組みが必要です。

また、これからの自治組織には、より民主的で透明性の高い運営や、市民公益活動団体との連携など、時代のニーズに対応した新しい活動展開が求められています。

(その対策)

地域の課題を解決する方針を地域住民自らが決定し、その課題ごとに住民が具体的な方策に着手できるように行政が支援し、住民と一緒に考え、実行するという協働の精神が、地域内において共有されることが必要です。そのための啓発に努めるとともに、地域審議会を活用し、地域課題の抽出や施策推進の点検を行います。

榑川支所を整備し、公民館や図書館施設と併せて、柔軟で複合的な機能を有する地域の拠点として活用し、自治組織の再編、地域の財産を有効に活用した組織運営など、区との緊密な連絡調整を通じ、自立した地域自治を確立するための支援を行います。

また、地域に密着した自治組織に、新しい公共の担い手を加えた多様な主体が、ともに知恵や労力などを提供できるように、協働のまちづくりを推進し、地域自治の活性化を促進します。

2 市民公益活動

(現状と問題点)

近年、市民公益活動団体(NPO法人、ボランティア団体、市民活動団体等)による社会貢献活動への参加意欲が高まり、住民の間にも自己決定のもとに連携し、地域の様々な課題を解決していこうという意識が広まりつつあります。現に榑川地区では、NPO法人が主体的に地域活性化の仕掛けづく

りを行うなど、意欲的な活動が始まっています。また、高齢者の生活支援等を目的としたボランティア団体が、活発に活動しています。

新たな公共の担い手である市民公益活動団体の役割は、主に行政や企業にはできない機動的できめの細かい公益サービスを提供することです。また、その活動を通じて、多様な知識や経験を持つ住民の活躍と雇用の場を生み出していくことが期待されています。

活動を展開するに当たっては、公益事業の提供主体として、住民に対する様々な責任を負い、活動の成果が常に問われることを自覚する必要があります。また、行政との対等な関係を保つためにも、財政的な自立が求められています。

(その対策)

事業の計画段階、実施段階において、多様な主体が参加する協働のまちづくりの仕組みを構築するとともに、より効果的な参加を促進するため、情報公開を徹底していきます。

対等な関係を保ち、市民公益活動団体の自主性に配慮しながら、組織強化のための人材育成、市民公益活動団体が活動しやすい環境づくりをさらに進めていきます。

3 集落整備

(現状と問題点)

檜川地区においては、日常的な助け合いや共同作業の結果として、豊かな地域社会が形成されてきました。

しかし、若年層の流出や少子高齢化の進展などにより、地域の担い手が不足し、地域活動が衰退傾向にあります。

若年層の流出を防止し、Uターン・Iターン者等の転入者をも含めた集落の活性化を図り、集落の有する機能を維持していくためには、集落の実情に応じた生活環境基盤の整備が必要です。また、都市住民との交流活動なども検討する必要があります。

(その対策)

集落が有する機能を維持し、良質な生活環境を確保するため、集会施設整備の支援や上・下水道施設、道路施設などの生活環境基盤の整備を進めます。

また、空き家対策を含めた定住促進対策、都市との交流機会の創出などを検討します。

4 計 画

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	備考
その他地域の自立促進に関し必要な事項		檜川支所庁舎改修工事	塩尻市	
		檜川地域審議会	塩尻市	
		広報ならかわ縮刷版編集	塩尻市	

第3 産業の振興

1 農林業

(現況と問題点)

檜川地区は平地が少ないため、家庭菜園的な農業がほとんどであり、農業経営は成り立っていません。遊休荒廃農地や手入れの行き届かない里山が増加し、環境や景観の保全など公益的機能の低下が懸念されています。また、有害鳥獣による畑作被害も多発しています。

このような中で、「むらおこし農家組合」による荒廃農地の解消と特用農林産物の開発の試みが始まり、山地に自生する「さるなし」を栽培し、ジャムやワインなどの特産品化を進めています。

林業は、素材生産が経営的に成り立たない時代背景から、生産活動はほとんど行われなくなり、手入れの行き届かない山林が目立ち始めています。水源かん養などの森林が持つ多面的機能を増進するため、広葉樹への樹種転換や除間伐を促進するなど、豊かな森林造成が課題となります。

(その対策)

「むらおこし農家組合」の活動支援などによる農地の有効利用や農産物直売所と連携した地産地消の仕組みづくりを促進するほか、里山保全事業の導入を検討します。また、有害鳥獣の巡回による追払いや駆除対策を進めます。

水源かん養のための森林整備とその財源確保に努め、下流域へ安定した水を供給する水源として、広大な森林資源の保全・整備を進めます。

2 商工業・地場産業

(現況と問題点)

工業は、漆器製造業と木工業が、檜川地区の基幹産業として発達してきました。

漆器製造業は、長い伝統を培い木曾漆器ブランドを確立してきましたが、生活様式や市場ニーズの変化、長引く景気低迷などにより、深刻な経営状況にあります。

木工業は、家具、工業用パレット、伝統的工芸品である曲げ物の生産などが行われていますが、不況の影響を受け、いずれも苦しい経営状況にあります。

商業は、消費者の買い物動向やニーズの多様化などにより消費者の流出が続いていて、地元滞留率がさらに下がり、商店経営は大変厳しく、後継者不足も深刻な状況にあります。

(その対策)

基幹産業の漆器・木工業については、木曾漆器工業協同組合、塩尻・木曾地域地場産業振興センター、関係機関等の協働により産地ぐるみの受注体制を構築するハブ・ファクトリー事業を支援し、漆を活用した新商品開発、文化財修復を通じた技術の高度化、人材・後継者の育成、情報の受発信など、多様な側面から振興促進を図ります。

また、中小企業・商店のための商工会による経営指導への支援、制度融資による金融支援等を行います。

3 観光

(現況と問題点)

檜川地区の観光は、奈良井宿の町並みや贄川関所などの歴史的観光資源と、塩尻・木曾地域地場産業振興センターを中心に、誘客を進めています。

奈良井宿は、知名度の浸透や観光バスのルート化により観光客数は伸びていますが、観光シーズンは春から秋までが中心で、また、通過型観光になっているため、観光消費額や延べ宿泊客数は伸び悩んでいます。

また、潜在的な観光資源として、関所のある贄川宿や、伝統的工芸品木曾漆器、重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指す平沢の町並み、権兵衛峠の自然や信濃路自然歩道などがありますが、地域の統一的な誘客体制の確立が課題となっています。

(その対策)

歴史的町並みを整備するなど、中山道の街道文化を観光資源として活用し、伝統的工芸品などとともに観光価値を高め、観光客の誘客を図ります。

奈良井宿については、観光案内所の設置や、観光バスに対応するための大型駐車場と橋りょうの整備を行うほか、観光客導線のJR横断対策を検討します。

通年型観光・滞在型観光を目指し、ならい荘を始めとする宿泊施設、食堂、土産店などのサービス体制、提供メニュー等に関する経営者や従業員の啓発・研修を促進します。

また、観光振興ビジョンの策定、伊那木曾連絡道路開通後の誘客対策、木曾路広域観光との連携、市内観光のルート化など、総合的に観光振興策を進めます。

4 計 画

自立促進 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考
産業の振興	(1) 基盤整備 農業 林業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	
		むらおこし農家組合事業	農家組合	
		公有林整備事業	塩尻市	
		森林造成事業 フォレストコミュニティ総合整備事業	塩尻市	
		緑資源機構造林整備事業	塩尻市	
	(8) 観光又はレク リエーション	中山道街道施設整備事業 奈良井駐車場整備、観光案内所整備、 文化財等説明サイン、一里塚整備	塩尻市	
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	
		中山道・権兵衛街道施設整備事業 広域サイン4基設置 栃窪・羽淵	塩尻市	
	(9) その他	地場産業振興センター事業	地場産業振興 センター	
		木曾漆器振興対策事業	工業協同組合等	
		ハブ・ファクトリー事業	実行委員会	
		認定職業訓練事業	工業協同組合	
		漆文化財修復受注支援事業	塩尻市	
		商工小規模振興事業補助金	塩尻市	

第4 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

1 道路

(現況と問題点)

国道19号は、檜川地区と市街地を直接結ぶ唯一の道路で、県内各地と中京方面を結ぶ交通の大動脈であると同時に、生活幹線道路でもあります。

一本道のため、交通事故、大雨・積雪時の通行規制等による渋滞や、交通の遮断等による影響が大きいことから、迂回路の確保を進めてきましたが、2か所が迂回不能箇所として残されています。

また、交通輸送体系の変化に伴い、通過する大型車両が増加し、交通事故、騒音、振動、排気ガス等が木曾路全体の問題になっています。

高規格道路の伊那木曾連絡道路が平成17年度に供用開始される予定であり、そこへの接続道路の整備が課題となっているほか、小野・辰野・諏訪地域との短絡道として、桜沢と上伊那郡辰野町を結ぶ県道檜川岡谷線についても整備促進が求められます。

このほか、生活道路としても機能するよう農道や林道の維持管理を図る必要があります。

(その対策)

国道19号の迂回不能箇所の対策として、日出塩 若神子間のバイパスの新設、桃岡 長瀬間の改良を国に要望していきます。

国道19号の交通安全及び沿道環境の改善のため、中央分離帯の設置やポストコーンの増設、集落道への右折レーンや信号機の増設などの対策を、関係機関に要望していくとともに、木曾路区間の大型車両の通行そのものを規制する方策について、関係機関と連携し、抜本的な対策を講じるよう働きかけをしていきます。

伊那木曾連絡道路に接続する道路には、信号機の設置などの安全対策や、県道姥神奈良井線の改良促進を、また、県道檜川岡谷線については整備の検討を、それぞれ県に要望していきます。

このほか、檜川地区内の市道については、新設改良、老朽化した橋りょうの架け替え等を推進するとともに、除雪体制等についても、地域住民との協働により万全を期していきます。

また、生活道路としても機能している農林道の維持管理に努めます。なお、林道峠山羽淵線の先線については、経済効果等を勘案しながら検討します。

2 交通

(現況と問題点)

J R 中央西線は、檜川地区に 3 駅を有し、特に自動車の運転ができない高齢者や学生などにとって重要な交通手段となっていますが、停車する列車数が少ない上、塩尻駅や木曾福島駅での特別急行等との接続も悪く、通勤通学や観光客の誘客などにも支障を来しています。

住民の移動手段を確保するため、檜川地域振興バスを運行していますが、住民の利便を考慮し、市内の他地区とを結ぶ路線を設けるなど、運行方法を検討する必要があります。

高速バスは、木曾福島 新宿間が朝夕 2 往復運行されていて、首都圏と直結する観光・ビジネスルートとして期待されます。

(その対策)

J R 中央西線は重要な交通機関であるため、住民に積極的な利用促進を啓発するとともに、J R 東海に対して利便向上のための改善を求めています。

檜川地域振興バスは、利用者の利便や観光面に配慮し、市内の他地区への運行を検討します。

高速バスについては、住民の利用促進と首都圏への P R を図るとともに、市域への停留所新設を運行事業者に要望していきます。

3 情報化

(現況と問題点)

19 か所の同報拡声器と、全世帯に配布した個別受信機による防災行政無線システムは、災害時の防災情報のほか、平常時での行政情報・地域情報等にも有効に活用していますが、今後は、市役所本庁や松本広域消防局、市内のオフトーク通信システムとの接続が課題となります。

檜川地区は難視聴地域であり、地域ごとに組合を設けて共聴受信施設を設置しているため、平成 23 年の地上デジタル放送に個々の組合が負担して対応することが困難な状況にあります。また、中波 (A M) ラジオ放送も受信できず、非常時の情報収集等における支障が懸念されています。

檜川地区内の公共施設 19 か所と市役所本庁との間に光ファイバーを敷設し、住民票発行等の行政連絡システムを整備しましたが、民間事業者による光ファイバーの情報通信基盤は整備されていません。

(その対策)

防災行政無線システムについて、市役所本庁、松本広域消防局、市内のオフトーク通信システムとの接続を検討します。

テレビ放送の完全デジタル化に対応するため、民間事業者を誘致するなど、住民の要望・意向に配慮しつつ、関係機関との調整を行うとともに、中波ラジオ放送の受信状態を改善するため、日本放送協会や民間放送事業者に対応を求めています。

インターネットの高速大容量通信時代に対応したサービスを住民が受けられるよう、市の光ファイバー網を民間事業者に貸し出し、活用を促進します。

4 地域間交流

(現況と問題点)

檜川地区では、漆を通じた交流として、日中友好協会を通じての交流、ブータン王国からの研修生の受入れ、ミャンマー連邦との技術交流など、住民交流が行われてきました。

また、中山道の奈良井宿と東海道の袋井宿は、ともに街道の中間の宿場であることから、袋井市と姉妹都市の提携をし、「どまん中交流」を続けています。

(その対策)

檜川日中友好協会、檜川ミャンマー交流協会等関係団体を通じて、住民交流を促進します。また、袋井市との交流を進めていきます。

5 計 画

自立促進 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考
交通通信体系 の整備、情報化 及び地域間交 流の促進	(1) 市道 道路 橋りょう	川入東線道路改良事業(交付金)	塩尻市	
		川入東線道路改良事業(地方特定)	塩尻市	
		川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替)	塩尻市	
	(5) 電気通信施設等情 報化のための施設 その他の情報化のた めの施設	情報通信基盤整備事業	塩尻市	
	(9) 地域間交流 交流事業の推進	国際交流事業	友好協会、交 流協会	
		友好都市交流事業	都市交流協会	
		上下流交流事業	塩尻市	
(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市		

第5 生活環境の整備

1 水道施設

(現況と問題点)

檜川地区には、檜川簡易水道(奈良井・平沢)と贅川簡易水道(贅川)がありますが、奈良井萱ヶ平、羽淵、糠沢の3集落は、簡易水道の給水区域外として残り、簡易給水施設等に頼らざるを得ない状況です。

昭和40年代初期から今日まで、拡張改良整備を行い、水源確保、給水区域の拡大、管路網の整備等に努めてきましたが、両簡易水道とも、施設、管路が老朽化し、平成16年12月末現在の有収率は67%であり、極めて給水効率が悪化しています。下水道整備に伴う管路の敷設替え等により一部は改良が進んでいますが、古い管路配管の状況が不明な部分があるなど、管理体制にも課題があり、安全で安定した水を供給するために、両簡易水道の統合を含め、総合的な給水体制や管理体制の見直しが必要となっています。

(その対策)

老朽化が著しい檜川簡易水道と贅川簡易水道を事業統合し、水源の安定している橋戸水源を使用して、浄水場と配水池を整備し、安全でおいしい水の安定供給に努めます。

また、配水管を計画的に改良し、有収率の向上を図るとともに、管理体制を整備して、水道事業の合理化と効率化を進めます。また、将来的には、企業会計を導入し、経営の効率化や事業の透明性をさらに高めていきます。

2 下水処理施設

(現況と問題点)

檜川地区では、平成6年度から下水道事業に着手し、事業を推進してきました。平成13年度に奈良井、平沢、長瀬の特定環境保全公共下水道が、平成17年度には贅川地区の農業集落排水施設が、それぞれ供用開始となり、処理人口普及率は93.8%となっています。今後は、下水道処理区域内の水洗化率の向上、施設の適正な維持管理、汚水処理量の増加に対応した処理場の機能強化等が課題となります。

このほかの区域では、小規模集合排水処理施設の整備や浄化槽の普及対策が課題となります。

(その対策)

下水処理施設は、贅川地区の農業集落排水施設の供用開始により、整備がほぼ終了し、今後は、処理量の増加に対応した汚水処理施設の増設による処

理場の機能強化を行います。

また、下水道整備計画区域内の水洗化率向上の啓発と接続促進に努めるとともに、処理場の適正な維持管理と企業会計化を行います。

このほかの区域については、贅川若神子集落の小規模集合排水処理施設の整備を実施するとともに、個別処理区域内を対象にした浄化槽の普及を進めます。

3 ごみ、し尿、一般廃棄物の処理

(現況と問題点)

市内の他地区では、ごみ及び一般廃棄物の処理は、塩尻・朝日衛生施設組合で共同処理していますが、合併による広域連合や住民生活の激変を緩和するため、榑川地区では当分の間、収集業務を除き、可燃ごみの焼却と焼却灰の処分、し尿の処理、下水道汚泥の集約処理業務を、引き続き木曾広域連合に事務委託することとしています。

これらの業務以外は、し尿処理の申込方法や資源物等の分別方法など、塩尻市の方式に変わったため、住民生活に混乱が生じないように配慮する必要があります。

また、環境基本計画やごみ処理基本計画に沿って、ごみの再資源化等に一層取り組んでいく必要があります。

(その対策)

施設の広域利用を引き続き推進するとともに、環境基本計画やごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量化、再資源化を推進し、環境負荷の軽減を図ります。

また、ごみ処理の有料化や、合併による衛生協議会組織、役員などの変更により、住民生活に支障が生じないように啓発に努めます。

4 消防施設

(現況と問題点)

常備消防については、合併により松本広域連合の管轄になりましたが、榑川地区が市の中心地から約20km離れているため、当分の間、消防及び救急業務について、松本広域連合から木曾広域連合に事務委託を行い、安全の確保に万全を期すこととしています。今後は、榑川地区での迅速な対応が可能な立地条件による常備消防の拠点整備の促進が課題となります。

重要伝統的建造物群保存地区などもあり、消防設備・機材の充実、消防団の組織強化など、消防力の一層の強化が求められる一方、消防団員の確保は、年々困難になっています。

榑川地区への影響が懸念される境峠・神谷断層帯の評価結果が公表され、

発生確率の高さが指摘されているため、地震災害対策を強化する必要があります。

（その対策）

常備消防については、迅速な対応が可能な立地条件による（仮称）塩尻南部消防署の早期整備を促進し、消防救急体制の充実を目指します。

消防設備や機材の更新・充実、消防団員確保のための啓発、消防団活動の近代化と組織の効率的再編に努めるほか、消防団員が不足する昼間火災に対応するため、自主防災組織等の充実による消防防災体制の強化を図ります。

また、地震災害対策を含め、地域防災計画の総合的な見直しを行います。

5 住環境

（現況と問題点）

榑川地区の賃貸住宅は、県営住宅が27戸、市営住宅が特定公共賃貸住宅24戸、定住促進住宅23戸であり、民間の賃貸住宅はありません。

これまで土地開発公社が30戸を分譲し、定住人口の確保に努めてきましたが、一方では、若年層の流出等により空き家が増加する傾向にあります。

奈良井宿などの歴史的な町並みは、住環境や景観保全の上からも、その保存・整備が求められます。

（その対策）

住宅マスタープランに基づき、需要に応じた効果的な市営住宅の改修・整備を検討します。

空き家の増加傾向に対応するため、定住促進対策を含め、空き家のデータベース化、所有者の意向確認、賃貸の調整、情報の発信等による空き家対策を推進します。

また、住環境機能の向上や景観の保全のため、街なみ環境整備事業を推進します。

6 安全なまちづくりの推進

（現況と問題点）

榑川地区では、交通事故発生件数・死傷者数が増加傾向にあり、平成15年4月には交通死亡事故多発非常事態を宣言し、同年11月には、県によるスピード抑止事業「木曾かめ号」の取組みが始まりました。

また、窃盗を中心に犯罪発生件数が増加傾向にあり、高齢者が被害者となる詐欺や悪質な訪問販売等の各種事犯も発生しています。

(その対策)

交通事故や犯罪の発生を未然に防止するため、警察等関係機関との連携を強化するとともに、防犯パトロール、街頭指導、啓発活動など、交通安全協会や防犯協会による自主的な活動を促進し、地域ぐるみでの交通安全意識の高揚と犯罪抑止力の強化を図り、安全なまちづくりを推進します。

7 計 画

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	備考
生活環境の整備	(1) 水道施設 簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・贅川)	塩尻市	
		太田配水池改修事業	塩尻市	
		楢川水道管路図面情報管理システム導入	塩尻市	
	(2) 下水処理施設 公共下水道 農村集落排水施設 その他	特定環境保全公共下水道整備事業	塩尻市	
		農業集落排水整備事業	塩尻市	
		小規模集合処理施設整備事業(若神子)	塩尻市	
		公共施設等下水道整備	塩尻市	
	(4) 消防施設	小型動力ポンプ積載車整備事業	塩尻市	
		小型動力ポンプ整備事業	塩尻市	
		防災資材庫整備1基(平沢区)	塩尻市	
		(仮称)塩尻南部消防署整備事業	塩尻市	
	(5) 住環境の整備 公営住宅 景観形成	定住促進住宅整備事業	塩尻市	
		街なみ環境整備事業	塩尻市	
(6) その他	除雪事業	塩尻市		

第6 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

1 保健

(現況と問題点)

現代社会においては、肥満、高血圧、糖尿病などの生活習慣病が増加し、それに起因した脳血管障害や心臓病などが増えています。

住民自らが健康への意識を高め、自ら健康管理に取り組むために、健康づくりに関する各種講座、健康相談、生活改善指導などを開催し、普及啓発活動を行っているほか、生活習慣が深く関与しているがん、心疾患、脳血管疾患等の早期発見・早期治療を目的に、基本健康診査、がん検診などを実施しています。これらの受診率については、基本健康診査と大腸がん検診が増加傾向にあるほかは、ほぼ横ばい傾向にあります。

乳幼児健診等については、受診率が90%を超え、関心も高くなっていますが、核家族化、少子化の傾向から子育てに不安を抱いている母親が増加する傾向にあります。子育て支援も含め、総合的に住民の保健予防体制を確立する必要があります。

(その対策)

榑川保健福祉センターを保健活動の拠点として、榑川診療所とともに住民の健康づくりを進め、保健師による訪問指導を含めた保健・栄養指導、健康教室等を通じ、健康管理や疾病予防のための普及啓発に努めるとともに、病気の早期発見・早期治療を目指した検診体制の充実と受診率の向上に努め、住民一人ひとりが生活改善を実践できるよう、保健予防活動を推進します。

また、母親が安心して子育てができるよう、母子保健事業の充実を図ります。

2 高齢者福祉

(現況と問題点)

榑川地区の高齢化率は、平成16年10月1日現在で31.4%(長野県毎月人口異動調査)に達し、今後も高齢化が進むものと予測されます。

高齢化に伴い、独り暮らし、寝たきり、認知症などの高齢者の増加が見込まれ、核家族化や家族の高齢化等により、家庭の介護力の低下も懸念されています。

榑川地区には、平成16年4月1日現在、独り暮らし老人が106人、在宅要介護者が約110人で、今後さらに増加が見込まれます。

(その対策)

高齢者の生きがいや社会参加を促進するとともに、可能な限り、住み慣れた家庭や地域の中で、高齢者が安心して暮らし続けることができるよう、在宅福祉サービスの充実を図ります。在宅での生活が困難な場合には、適切な施設が利用できるよう、広域的な施設整備を促進していきます。

また、地域福祉を推進し、福祉の担い手を広げ、地域住民による支え合い、見守り活動の促進や、協働と民間活力による福祉サービスづくりを進めます。

3 児童福祉

（現況と問題点）

近年、少子化や核家族化の進行等により、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化しています。その結果、世代を通して子育てを学ぶ機会が少なくなり、地域社会における近隣との繋がりも希薄になりつつあります。また、子育てと就労の両立を希望する保護者も多く、保育需要も多様化しているほか、ひとり親家庭も増加傾向にあり、犯罪や虐待による子どもの被害も社会問題化しています。

これらのことから、保育の充実と、子育てに悩む保護者への支援、家庭環境に応じた支援、地域社会全体で子どもを育てる仕組みづくりが求められています。

また、檜川地区には保育園が2園ありますが、いずれも児童数が激減しているため、統合に向けた検討が必要です。

（その対策）

子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、家庭教育の支援、相談・情報提供や保育・育児サービスの充実を図るなど、子育て家庭を支援する仕組みづくりを推進するほか、子どもの安全を守る環境づくりや、地域の子育て交流など、地域社会の連携を進め、次世代育成支援対策塩尻市行動計画に基づき、総合的かつ計画的な児童福祉の推進に努めます。

また、保育園2園の統合については、檜川地域審議会などの意見を踏まえ、小学校の統合や後利用を含めて検討し、保育園等施設整備計画に基づき、運営の効率化とサービスの向上を目指します。

4 障害者福祉

（現況と問題点）

平成16年4月1日現在、檜川地区の障害者手帳（身体・療育・精神）の所持者数は、185人となっています。障害の内容や程度は様々ですが、社会生活の中で不便を強いられることから、住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりや、障害者に対する正しい理解の普及が求められます。また、障害者の自立を支援し、社会参加を促進していく施策を計画的に推進してい

くことが必要です。

(その対策)

障害者が地域で安心して暮らせるように、公共施設のバリアフリー化の推進、障害者福祉サービスや支援費制度の充実、雇用・就業の促進による自立支援、地域やボランティア団体等の活動支援を通じた社会参加の促進などを積極的に支援します。

また、榑川共同作業所「にこにこどんぐりハウス」の支援など、地域での働く場づくりを進めます。

5 計 画

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	備考
高齢者等の保健 及び福祉の向上 及び増進	(3) 児童福祉施設 保育所	保育園整備事業	塩尻市	
	(6) その他	保育園バス整備事業	塩尻市	
		榑川共同作業所運営事業	事業者	
		放課後児童教室	塩尻市	

第7 医療の確保

1 医療

(現況と問題点)

檜川地区の医療機関は、市の国民健康保険檜川診療所と民間の歯科医院がそれぞれ1か所ありますが、特定の診療科に係る医療については、地区外への通院が必要になります。

檜川診療所は、地区内で唯一の一次医療施設として、また、保健指導や検診施設として重要な役割を担っています。

運営状況は、平成3年開所当時の赤字幅が大幅に縮小し、収支の均衡が改善されてきたものの、医療保険制度の改正による個人負担分の増加や医薬分業による薬剤処方切離し等により医療収入が伸びず、厳しい経営状況となっています。

安定的に医療を確保するため、運営の基本的なあり方を検討する必要性があり、また、定期的な設備の更新等も課題となります。

(その対策)

檜川診療所は、経営改善、安定的な医師の確保などが課題であり、福祉サービスや介護保険サービスとの連携を強化するなど、医療サービスの一層の向上を図るため、民間医療法人への委託を視野に入れ、運営方法の検討を進めます。

また、医療設備等については、経営状況や耐用年数を考慮しながら、サービスが維持できるよう計画的に更新整備を図ります。

さらに、高齢者等が地区外の医療機関へ通院する環境を整えます。

2 計画

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考
医療の確保	(1) 診療施設 その他	医療機器整備事業	塩尻市	
	(2) 特定診療科に係る診療 その他	外出支援事業	事業者	

第8 教育の振興

1 子ども教育

(現況と問題点)

子ども達を取り巻く環境が変化し、いじめや不登校の問題、家庭や地域の教育力の低下、公共的な意識の希薄化など、教育に関する問題は深刻化しています。

榑川地区には、贅川小学校と榑川小学校がありますが、過去20年間で児童数が3分の1に激減し、平成17年1月現在の児童数は、贅川小学校32人、榑川小学校98人であり、極端に少人数の学級編成や男女比の偏りなど、児童数が少ないことによる弊害が懸念されてきました。

適正規模による効率的で充実した教育を確保する観点から、合併前の旧榑川村教育委員会及び議会において、榑川小学校校舎を使用して、2校を統合する方針が決定されました。小学校の統合問題は、旧榑川村の意思を引き継いだ喫緊の課題となっています。

(その対策)

子ども達が個性や能力を発揮し、意欲的に生きていくことができるよう、学校、家庭、地域、関係機関の連携を強め、健全育成活動の促進、学校教育の充実、就学支援など、教育の充実を図ります。

旧榑川村における小学校統合の方針を踏まえ、地域社会との繋がり、校舎の後利用等を考慮し、榑川地域審議会や教育委員会などにおいて、実現の方法等を検討します。

2 生涯学習

(現況と問題点)

少子高齢化、余暇時間の増大などを背景に、生涯学習に対する住民要望は高まり、多様化しています。豊かな心を育み、生涯にわたる生きがいを育むため、学習機会の提供による地域の活性化や、人材育成のためのボランティア活動等の活性化が求められます。

榑川地区においては、榑川公民館と図書館榑川分館が、生涯学習の中心的な役割を担っています。

(その対策)

住民一人ひとりが個性を伸ばし、生きがいを持って豊かに生活できるよう、学習環境を整え、多様で総合的な学習機会の提供に努めます。

また、学校、家庭、地域社会の教育機能の充実を図るとともに、伝統文化

などの地域学習を始めとする公民館活動の促進、漆器関係の蔵書を生かした図書館機能の充実と施設設備の整備を進めます。

3 社会体育

(現況と問題点)

檜川地区の社会体育施設は、体育館、運動場、弓道場、屋内運動場のほか、学校施設の開放利用があります。これら施設の有効利用や、健康増進のためのスポーツ・レクリエーションの普及が課題となります。

スポーツ少年団は7団体ありますが、児童・生徒が減少し、活動を維持することが困難になっています。

また、地区体育協会は、公民館と重複して事業を実施してきた経過があり、地区体育協会としての独立した運営が求められています。

(その対策)

生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、「住民みな1スポーツ」の推進を図ります。

また、社会体育施設の利用、スポーツ少年団活動の地域間交流、体育協会の組織強化などを促進するほか、老朽化した施設を年次的に改修し、整備を図ります。

4 計 画

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	備考
教育の振興	(1) 学校教育関連施設 (1) その他の施設	学校夜間照明整備事業檜川小学校	塩尻市	
		小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	
	(3) 集会施設、体育施設等 体育施設	運動場改修事業	塩尻市	
	(4) その他 図書館	図書館分館蔵書データベース化事業	塩尻市	
		図書館分館・文書保存施設整備事業	塩尻市	

第9 地域文化の振興

1 地域文化

(現況と問題点)

檜川地区には、中世・近世以降、木曾古道、中山道、権兵衛街道の街道筋であったことによる街道文化と、そこに育った伝統工芸や習俗文化など、多くの伝統的な地域文化が残されています。

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている奈良井宿の町並みのほか、大切にしたい史跡として、贅川関所跡、川入鍋掛番所跡、押込と若神子の一里塚跡などがあり、文化財建造物では、現在調査が進められている贅川の深澤家住宅や奈良井の原家住宅などがあります。

これら街道文化のほか、街道筋に木曾漆器の職人町を形成している平沢の町並みがあり、木曾漆器は、その製作用具及び製品3,712点が国の重要有形民俗文化財に指定されています。また、贅川のトチノキは県の天然記念物に指定され、巨木百選に選ばれた権兵衛峠のカラマツ、鎮神社や諏訪神社の社叢などは、市の天然記念物に指定されています。

そのほか、祭り、鳥追いなどの行事、食文化など、地域の人々によって伝承されてきた習俗慣習も残されています。

このような伝統的な地域文化を保存伝承し、活用していくことが求められます。

(その対策)

奈良井宿の町並み保存を引き続き推進するとともに、職人町としての平沢についても、重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指します。

そのほか、守り育てられてきた有形・無形の伝統的な地域文化を保存伝承し、歴史と伝統の中に新しい価値を見だし、地域文化の振興を図るとともに、観光や地場産業など地区の活性化にも活用し、過疎からの脱却ひいては全市一体としての発展を目指します。

また、合併に至るまでの旧檜川村の歴史を記録として残し、後世に伝えるため、檜川村誌の完結編を編纂します。

2 計 画

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	備考
地域文化の振興等	(2) その他	重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 木曾平沢修理修景事業	塩尻市	
		伝統的建造物群保存対策事業 平沢・奈良井防災計画策定	塩尻市	
		重要文化財（建造物）修理事業 （贄川）	塩尻市	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 （買上げ事業平沢）	塩尻市	
		重要文化財等保存対策調査事業 保存調査	塩尻市	
		檜川村誌続編編纂事業（完結編）	塩尻市	

1 事業計画（平成17年度～平成21年度）

1 事業計画（平成17年度～21年度）

（単位：千円）

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算事業費 (見込み)	年度区分					備考	
					17	18	19	20	21		
1 産業の振興	(1) 基盤整備			101,805	19,833	18,968	21,468	20,568	20,968		
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	3,340	668	668	668	668	668		
		むらおこし農家組合事業	農家組合	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打	塩尻市	51,300	10,000	9,000	10,000	10,300	12,000		
		森林造成事業 フォレストコミュニティ総合整備事業	塩尻市	17,165	2,965	4,200	4,600	4,100	1,300		
		緑資源機構造林整備事業 橋戸沢・コイノコ沢	塩尻市	25,000	5,200	4,100	5,200	4,500	6,000		
	(8) 観光又はレクリ エーション				158,500	3,900	15,900	45,400	50,400	42,900	
		中山道街道施設整備事業 奈良井駐車場整備、観光案内所整備 文化財等説明サイン、一里塚整備	塩尻市	134,000	1,000	3,000	42,500	47,500	40,000		
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	14,500	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900		
		中山道・権兵衛街道施設整備事業 案内サイン設置事業 広域サイン4基設置 朽窪・羽淵	塩尻市	10,000		10,000					
	(9) その他				457,517	94,983	94,686	90,616	88,616	88,616	
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター	400,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000		
		木曾漆器振興対策事業	工業協同組合等	35,790	7,158	7,158	7,158	7,158	7,158		
		ハブ・ファクトリー事業	実行委員会	6,297	2,297	2,000	2,000				
		認定職業訓練事業	工業協同組合	7,290	1,458	1,458	1,458	1,458	1,458		
		商工小規模振興事業補助金	塩尻市	8,140	4,070	4,070					
	小計			717,822	118,716	129,554	157,484	159,584	152,484		
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			537,600	167,000	185,000	27,600	148,000	10,000		
	道路	川入東線道路改良事業（交付金） L = 750m W = 6.0m	塩尻市	132,000	80,000	52,000					
		川入東線道路改良事業（地方特定） L = 18m W = 6.0m	塩尻市	150,000	80,000	70,000					
	橋りょう	川岸線道路改良事業（マキヤ沢橋架替） L = 45m W = 7.0m	塩尻市	255,600	7,000	63,000	27,600	148,000	10,000		

1 事業計画（平成17年度～21年度）

（単位：千円）

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算事業費 (見込み)	年度区分					備考	
					17	18	19	20	21		
	(5) 電気通信施設等 情報化のための施設			136,500			3,500	70,000	63,000		
		その他の情報化の ための施設	情報通信基盤整備事業 光ファイバー敷設	塩尻市	136,500			3,500	70,000	63,000	
	(9) 地域間交流				4,550	1,550	750	750	750	750	
		交流事業の推進	国際交流事業	友好協会、 交流協会	1,500	300	300	300	300	300	
			友好都市交流事業	都市交流協会	2,250	450	450	450	450	450	
			上下流交流事業	塩尻市	800	800					
	(10) その他				68,985	13,797	13,797	13,797	13,797	13,797	
			交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	68,985	13,797	13,797	13,797	13,797	13,797	
		小計			747,635	182,347	199,547	45,647	232,547	87,547	
	3 生活環境の 整備	(1) 水道施設				743,700	42,200	160,000	190,100	221,400	130,000
簡易水道			簡易水道施設整備事業 (檜川・費川)	塩尻市	699,200	35,200	150,000	179,000	205,000	130,000	
			簡易水道施設整備事業 太田配水池改修事業	塩尻市	7,000	7,000					
			檜川水道管路図面情報管理システム導入	塩尻市	37,500		10,000	11,100	16,400		
(2) 下水処理施設					443,900	43,000	90,900	276,000	34,000		
		公共下水道	特定環境保全公共下水道整備事業 OD池増設、宅内ポンプ整備	塩尻市	306,900	15,900	25,000	254,000	12,000		
		農村集落排水施設	農業集落排水整備事業 宅内ポンプ設置	塩尻市	16,000	12,000	4,000				
		その他	小規模集合処理施設整備事業(若神子) 管路整備L=345m 浄化槽1基	塩尻市	50,500	10,600	39,900				
			公共施設等下水道整備	塩尻市	70,500	4,500	22,000	22,000	22,000		
(4) 消防施設					358,600	16,600			342,000		
			小型動力ポンプ積載車整備事業	塩尻市	7,300	7,300					
			小型動力ポンプ整備事業	塩尻市	3,600	3,600					
			防災資材庫整備 1基(平沢区)	塩尻市	5,700	5,700					
		(仮称)塩尻南部消防署整備事業	塩尻市	342,000				342,000			

1 事業計画（平成17年度～21年度）

（単位：千円）

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算事業費 (見込み)	年度区分					備考	
					17	18	19	20	21		
	(5) 住環境の整備			732,710	14,210	180,500	94,400	109,000	334,600		
	公営住宅	定住促進住宅整備事業 1棟10戸	塩尻市	105,000			17,000	88,000			
	景観形成	街なみ環境整備事業	塩尻市	627,710	14,210	180,500	77,400	21,000	334,600		
	(6) その他	除雪事業	塩尻市	34,000	6,000	7,000	7,000	7,000	7,000		
	小計			2,312,910	122,010	438,400	567,500	713,400	471,600		
4 高齢者等の 保健及び福祉 の向上及び増 進	(3) 児童福祉施設			330,000				330,000			
	保育所	保育園整備事業	塩尻市	330,000				330,000			
	(6) その他				9,345	9,345					
			保育園バス整備事業	塩尻市	1,470	1,470					
			榑川共同作業所運営事業	事業者	5,835	5,835					
			放課後児童教室	塩尻市	2,040	2,040					
小計			339,345	9,345			330,000				
5 医療の確保	(1) 診療施設			23,000				13,000	10,000		
	その他	医療機器整備事業	塩尻市	23,000				13,000	10,000		
	(2) 特定診療料に係る 診療			39,420	7,884	7,884	7,884	7,884	7,884		
	その他	外出支援事業	事業者	39,420	7,884	7,884	7,884	7,884	7,884		
	小計			62,420	7,884	7,884	7,884	20,884	17,884		
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			89,800	19,200	16,400	17,800	18,200	18,200		
	(1) その他の施設			89,800	19,200	16,400	17,800	18,200	18,200		
	その他	学校夜間照明整備事業 榑川小学校	塩尻市	8,400	8,400						
		小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	42,800	6,100	8,500	9,400	9,400	9,400		
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	28,000	3,600	6,100	6,100	6,100	6,100		
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	10,600	1,100	1,800	2,300	2,700	2,700		

1 事業計画（平成17年度～21年度）

（単位：千円）

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算事業費 (見込み)	年度区分					備考
					17	18	19	20	21	
	(3) 集会施設、体育施設等			10,500			5,500		5,000	
	体育施設	運動場改修事業 クラブハウス、照明灯、フェンス改修	塩尻市	10,500			5,500		5,000	
	(4) その他			30,850	1,850	15,800	13,200			
	図書館	図書館分館蔵書データベース化事業	塩尻市	1,850	1,850					
		図書館分館・文書保存施設整備事業 分館改修	塩尻市	29,000		15,800	13,200			
	小計			131,150	21,050	32,200	36,500	18,200	23,200	
7 地域文化の振興等	(2) その他			149,837	17,737	20,600	23,500	30,000	58,000	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	70,337	10,337	15,000	15,000	15,000	15,000	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 木曾平沢修理修景事業	塩尻市	30,000				15,000	15,000	
		伝統的建造物群保存対策事業 平沢・奈良井防災計画策定	塩尻市	5,500			5,500			
		重要文化財（建造物）修理事業 （贅川）	塩尻市	15,000					15,000	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 （買上げ事業 平沢）	塩尻市	10,000					10,000	
		重要文化財等保存対策調査事業 保存調査	塩尻市	9,000	3,000		3,000		3,000	
		榑川村誌続編編纂事業（完結編）	塩尻市	10,000	4,400	5,600				
	小計			149,837	17,737	20,600	23,500	30,000	58,000	
9 その他地域の自立促進に関し必要な事項	(1) 地域自治の推進			33,993	2,601	10,348	10,348	10,348	348	
		榑川支所庁舎改修工事	塩尻市	30,000		10,000	10,000	10,000		
		榑川地域審議会	塩尻市	1,740	348	348	348	348	348	
		広報ならかわ縮刷版編集	塩尻市	2,253	2,253					
	小計			33,993	2,601	10,348	10,348	10,348	348	
総計			4,495,112	481,690	838,533	848,863	1,514,963	811,063		

2 年度別事業計画

平成17年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財 源 内 訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	過疎債	その他 特定財源	一般財源	
1 産業の振興	(1) 基盤整備			19,833	3,700	1,600	4,000		5,200	5,333	
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	668						668	
		むらおこし農家組合事業	農家組合	1,000						1,000	
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打	塩尻市	10,000	3,700	1,600	4,000			700	
		森林造成事業(フォレストコミュニティ総合整備事業)70.91ha	塩尻市	2,965						2,965	
		緑資源機構造林整備事業 (橋戸沢)	塩尻市	5,200					5,200		
	(8) 観光又はレクリエーション				3,900						3,900
		中山道街道施設整備事業 文化財等説明サイン	塩尻市	1,000							1,000
		木曽漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	2,900							2,900
	(9) その他				94,983						94,983
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター	80,000							80,000
		木曽漆器振興対策事業	工業協同組合等	7,158							7,158
		ハブ・ファクトリー事業	実行委員会	2,297							2,297
		認定職業訓練事業	工業協同組合	1,458							1,458
商工小規模振興事業補助金		塩尻市	4,070							4,070	
小計				118,716	3,700	1,600	4,000		5,200	104,216	
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			167,000	44,000		115,000	43,000		8,000	
	道路	川入東線道路改良事業(交付金) L=170m W=6.0m	塩尻市	80,000	44,000		36,000	36,000			
		川入東線道路改良事業(地方特定) L=18m W=6.0m	塩尻市	80,000			72,000			8,000	
	橋りょう	川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替) 測量試験・奈良井駐車場調査費	塩尻市	7,000			7,000	7,000			
	(9) 地域間交流				1,550						1,550
国際交流事業		友好協会、交流協会		300						300	

平成17年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一般財源
		友好都市交流事業	都市交流協会	450						450
		上下流交流事業	塩尻市	800						800
	(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	13,797					2,000	11,797
	小計			182,347	44,000		115,000	43,000	2,000	21,347
3 生活環境の 整備	(1) 水道施設			42,200	10,560		24,600			7,040
	簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・贅川) 実施設計	塩尻市	35,200	10,560		24,600			40
		太田配水池防水防食改修事業	塩尻市	7,000						7,000
	(2) 下水処理施設			43,000			32,300			10,700
	公共下水道	特定環境保全公共下水道整備事業 調査設計、宅内ポンプ整備	塩尻市	15,900			12,000			3,900
	農村集落排水施設	農業集落排水整備事業 宅内ポンプ設置	塩尻市	12,000			10,800			1,200
	その他	小規模集合処理施設整備事業(若神子) 実施設計、管路整備 L = 8 5 m	塩尻市	10,600			9,500			1,100
		公共施設等下水道整備	塩尻市	4,500						4,500
	(4) 消防施設			16,600			15,100	10,900		1,500
		小型動力ポンプ積載車整備事業 2台	塩尻市	7,300			7,300	7,300		
		小型動力ポンプ整備事業 2台	塩尻市	3,600			3,600	3,600		
		防災資材庫整備 1基(平沢区)	塩尻市	5,700			4,200			1,500
	(5) 住環境の整備			14,210	7,000		7,000	7,000		210
	景観形成	街なみ環境整備事業 計画策定、実施設計(奈良井)	塩尻市	14,210	7,000		7,000	7,000		210
(6) その他										
	除雪事業	塩尻市	6,000						6,000	
	小計			122,010	17,560		79,000	17,900		25,450

平成17年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支出金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一般財源
4 高齢者等の 保健及び福祉 の向上及び増 進	(6) その他			9,345		2,160				7,185
		保育園バス整備事業	塩尻市	1,470						1,470
		榑川共同作業所運営事業	事業者	5,835		2,160				3,675
		放課後児童教室	塩尻市	2,040						2,040
		小計			9,345		2,160			
5 医療の確保	(2) 特定診療科に係 る診療施設			7,884						7,884
	その他	外出支援事業	事業者	7,884						7,884
	小計			7,884						7,884
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			19,200						19,200
	(イ) その他の施設			19,200						19,200
	その他	学校夜間照明整備事業 榑川小学校	塩尻市	8,400						8,400
		小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	6,100						6,100
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	3,600						3,600
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	1,100						1,100
	(4) その他			1,850	1,850					
	図書館	図書館分館蔵書データベース化事業	塩尻市	1,850	1,850					
	小計			21,050	1,850					19,200
	7 地域文化の 振興等	(2) その他			17,737	11,030	765			
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	10,337	6,630	765				2,942
		重要文化財等保存対策調査事業 保存調査	塩尻市	3,000						3,000
		榑川村誌続編編纂事業(完結編)	塩尻市	4,400	4,400					
小計				17,737	11,030	765				5,942

平成17年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一般財源
9 その他地域の 自立促進に 関し必要な事 項	(1) 地域自治の推進			2,601						2,601
		榑川地域審議会	塩尻市	348						348
		広報ならかわ縮刷版編集	塩尻市	2,253						2,253
	小計			348						348
総 計				479,437	78,140	4,525	198,000	60,900	7,200	191,572

平成18年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債		その他 特定財源	一般財源	
							過疎債				
1 産業の振興	(1) 基盤整備			18,968	3,400	1,400	3,600		4,100	6,468	
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	668							668
		むらおこし農家組合事業	農家組合	1,000							1,000
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打 3.2ha	塩尻市	9,000	3,400	1,400	3,600				600
		森林造成事業(フォレストコミュニティ総合整備事業) 63.54ha	塩尻市	4,200							4,200
		緑資源機構造林整備事業 (橋戸沢)	塩尻市	4,100					4,100		
	(8) 観光又はレクリエーション			15,900						15,900	
		中山道街道施設整備事業 観光案内所整備	塩尻市	2,000							2,000
		中山道街道施設整備事業 文化財等説明サイン	塩尻市	1,000							1,000
		中山道・権兵衛街道施設整備事業 案内サイン設置事業 広域サイン4基設置 栢窪・羽淵	塩尻市	10,000							10,000
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	2,900							2,900
	(9) その他			94,686							94,686
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター	80,000							80,000
		木曾漆器振興対策事業	工業協同組合等	7,158							7,158
		ハブ・ファクトリー事業	実行委員会	2,000							2,000
		認定職業訓練事業	工業協同組合	1,458							1,458
		商工小規模振興事業補助金	塩尻市	4,070							4,070
	小計			129,554	3,400	1,400	3,600		4,100	117,054	
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			185,000	28,600		149,400	86,400		7,000	
	道路	川入東線道路改良事業(交付金) L=580m W=6.0m	塩尻市	52,000	28,600		23,400	23,400			
	橋りょう	川入東線道路改良事業(地方特定) L=18m W=6.0m	塩尻市	70,000			63,000			7,000	
		川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替) 実施設計、用地取得	塩尻市	63,000			63,000	63,000			

平成18年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	過疎債	その他 特定財源	一般財源	
	(9) 地域間交流			750						750	
		国際交流事業	友好協会、 交流協会	300						300	
		友好都市交流事業	都市交流協会	450						450	
	(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	13,797					2,000	11,797	
	小計			199,547	28,600		149,400	86,400	2,000	19,547	
3 生活環境の 整備	(1) 水道施設			160,000	45,000		105,000			10,000	
		簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・贄川) 浄水場工事	塩尻市	150,000	45,000		105,000			
			楢川水道管路図面情報管理システム導入 現地調査、管路網図作成	塩尻市	10,000						10,000
	(2) 下水処理施設				90,900	9,350	3,825	50,100			27,625
		公共下水道	特定環境保全公共下水道整備事業 OD池増設実施設計、宅内ポンプ整備	塩尻市	25,000	9,350	3,825	10,600			1,225
		農村集落排水施設	農業集落排水整備事業 宅内ポンプ設置	塩尻市	4,000			3,600			400
		その他	小規模集合処理施設整備事業(若神子) 管路整備L=260m ポンプ2基	塩尻市	39,900			35,900			4,000
			公共施設等下水道整備	塩尻市	22,000						22,000
	(5) 住環境の整備			180,500	90,230		90,100	90,100		170	
		景観形成	街なみ環境整備事業 奈良井整備	塩尻市	180,500	90,230		90,100	90,100		170
	(6) その他	除雪事業	塩尻市	7,000						7,000	
小計			438,400	144,580	3,825	245,200	90,100		44,795		
5 医療の確保	(2) 特定診療科に係る診療 施設			7,884						7,884	
	その他	外出支援事業	事業者	7,884						7,884	
	小計			7,884						7,884	

平成18年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳						
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一 般 財 源	
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			16,400						16,400	
	(1) その他の施設	その他	小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	8,500						8,500
			中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	6,100						6,100
			普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	1,800						1,800
	(4) その他			15,800	15,800						
	図書館	図書館分館・文書保存施設整備事業 分館改修工事	塩尻市	15,800	15,800						
	小計			32,200	15,800					16,400	
7 地域文化の 振興等	(2) その他			20,600	13,950	1,125				5,525	
			重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750	1,125				4,125
			楢川村誌続編編纂事業(完結編)	塩尻市	5,600	4,200					1,400
		小計			20,600	13,950	1,125				5,525
9 その他地域の 自立促進に 関し必要な事 項	(1) 地域自治の推進			10,348						10,348	
			楢川支所庁舎改修	塩尻市	10,000						10,000
			楢川地域審議会	塩尻市	348						348
		小計			10,348						10,348
総 計				838,533	206,330	6,350	398,200	176,500	6,100	221,553	

平成19年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	その他			
								過疎債	特定財源	一般財源	
1 産業の振興	(1) 基盤整備			21,468	3,700	1,600	4,000		5,200	6,968	
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	668						668	
		むらおこし農家組合事業	農家組合	1,000						1,000	
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打 37ha	塩尻市	10,000	3,700	1,600	4,000			700	
		森林造成事業(フォレストコミュニティ総合整備事業) 68.48ha	塩尻市	4,600						4,600	
		緑資源機構造林整備事業 (橋戸沢)	塩尻市	5,200					5,200		
	(8) 観光又はレクリエーション				45,400			42,500	42,500		2,900
		中山道街道施設整備事業 奈良井駐車場整備事業	塩尻市		42,500			42,500	42,500		
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会		2,900						2,900
	(9) その他				90,616						90,616
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター		80,000						80,000
		木曾漆器振興対策事業	工業協同組合等		7,158						7,158
		ハブ・ファクトリー事業	実行委員会		2,000						2,000
		認定職業訓練事業	工業協同組合		1,458						1,458
		小計			157,484	3,700	1,600	46,500	42,500	5,200	100,484
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			27,600			27,600	27,600			
	橋りょう	川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替) L = 45m W = 7.0m	塩尻市	27,600			27,600	27,600			
	(5) 電気通信施設の整備			3,500			3,300			200	
	その他情報化施設	情報通信基盤整備事業 調査設計	塩尻市	3,500			3,300			200	
	(9) 地域間交流				750						750
		国際交流事業	友好協会、 交流協会		300						300
		友好都市交流事業	都市交流協会		450						450

平成19年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳					
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	その他		一般財源
								過疎債	特定財源	
	(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	13,797					2,000	11,797
	小計			45,647			30,900	27,600	2,000	12,747
3 生活環境の 整備	(1) 水道施設			190,100	53,700		125,300			11,100
	簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・費川) 浄水場工事	塩尻市	179,000	53,700		125,300			
		楢川水道管路図面情報管理システム導入 ソフト開発	塩尻市	11,100						11,100
	(2) 下水処理施設			276,000	135,300	55,350	57,000			28,350
	公共下水道	特定環境保全公共下水道整備事業 OD池増設工事、宅内ポンプ整備	塩尻市	254,000	135,300	55,350	57,000			6,350
	その他	公共施設等下水道整備	塩尻市	22,000						22,000
	(5) 住環境の整備			94,400	38,670		51,300	51,300		4,430
	公営住宅	定住促進住宅整備事業 用地取得	塩尻市	17,000			12,700	12,700		4,300
	景観形成	街なみ環境整備事業 奈良井整備	塩尻市	77,400	38,670		38,600	38,600		130
	(6) その他	除雪事業	塩尻市	7,000						7,000
	小計			567,500	227,670	55,350	233,600	51,300		50,880
5 医療の確保	(2) 特定診療科に係る診療 施設			7,884						7,884
	その他	外出支援事業	事業者	7,884						7,884
	小計			7,884						7,884
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			17,800						17,800
	(1) その他の施設			17,800						17,800
	その他	小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	9,400						9,400
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	6,100						6,100
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	2,300						2,300

平成19年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	その他		一般財源
								過疎債	特定財源	
	(3) 集会施設、体育施設等			5,500						5,500
	体育施設	運動場改修事業 クラブハウス、照明灯改修	塩尻市	5,500						5,500
	(4) その他			13,200	13,200					
	図書館	図書館分館・文書保存施設整備事業 分館改修工事	塩尻市	13,200	13,200					
	小計			36,500	13,200					23,300
7 地域文化の 振興等	(2) その他			23,500	9,750	1,125				12,625
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750	1,125				4,125
		伝統的建造物群保存対策事業 平沢・奈良井防災計画策定	塩尻市	5,500						5,500
		重要文化財等保存対策調査事業 保存調査	塩尻市	3,000						3,000
	小計			23,500	9,750	1,125				12,625
9 その他地域 の自立促進に 関し必要な事 項	(1) 地域自治の推進			10,348	6,800					3,548
		榑川支所庁舎改修	塩尻市	10,000	6,800					3,200
		榑川地域審議会	塩尻市	348						348
	小計			10,348	6,800					3,548
総 計				848,863	261,120	58,075	311,000	121,400	7,200	211,468

平成20年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	過疎債	その他 特定財源	一般財源	
1 産業の振興	(1) 基盤整備			20,568	3,600	1,500	4,000		4,500	6,968	
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	668						668	
		むらおこし農家組合事業	農家組合	1,000						1,000	
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打 38ha	塩尻市	10,300	3,600	1,500	4,000			1,200	
		森林造成事業(フォレストコミュニティ総合整備事業)62.09ha	塩尻市	4,100						4,100	
		緑資源機構造林整備事業 (コイノコ沢)	塩尻市	4,500					4,500		
	(8) 観光又はレクリエーション				50,400			47,500	47,500		2,900
		中山道街道施設整備事業 奈良井駐車場整備事業	塩尻市	42,500			42,500	42,500			
		中山道街道施設整備事業 一里塚整備 (桃岡)	塩尻市	5,000			5,000	5,000			
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	2,900						2,900	
	(9) その他				88,616						88,616
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター	80,000							80,000
		木曾漆器振興対策事業	工業協同組合等	7,158							7,158
		認定職業訓練事業	工業協同組合	1,458							1,458
	小計			159,584	3,600	1,500	51,500	47,500	4,500	98,484	
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			148,000			148,000	148,000			
	橋りょう	川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替) L = 45m W = 7.0m	塩尻市	148,000			148,000	148,000			
	(5) 電気通信施設の整備			70,000			66,500			3,500	
	その他情報化施設	情報通信基盤整備事業 光ファイバー敷設	塩尻市	70,000			66,500			3,500	
	(9) 地域間交流				750						750
		国際交流事業	友好協会、 交流協会	300							300
友好都市交流事業		都市交流協会	450							450	

平成20年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳					
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	過疎債	その他 特定財源	一般財源
	(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	13,797					2,000	11,797
	小計			232,547			214,500	148,000	2,000	16,047
3 生活環境の 整備	(1) 水道施設			221,400	61,500		143,500			16,400
	簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・費川) 管路工事・PCタンク実施設計	塩尻市	205,000	61,500		143,500			
		楢川水道管路図面情報管理システム導入 データベース築造	塩尻市	16,400						16,400
	(2) 下水処理施設			34,000			10,800			23,200
	公共下水道	特定環境保全公共下水道整備事業 宅内ポンプ整備	塩尻市	12,000			10,800			1,200
	その他	公共施設等下水道整備	塩尻市	22,000						22,000
	(4) 消防施設			342,000			324,900			17,100
		(仮称)塩尻南部消防署整備事業	塩尻市	342,000			324,900			17,100
	(5) 住環境の整備			109,000	10,500		74,000	74,000		24,500
	公営住宅	定住促進住宅整備事業 1棟10戸建設	塩尻市	88,000			66,000	66,000		22,000
	景観形成	街なみ環境整備事業 計画策定、実施設計(木曾平沢)	塩尻市	21,000	10,500		8,000	8,000		2,500
(6) その他	除雪事業	塩尻市	7,000						7,000	
小計			713,400	72,000		553,200	74,000		88,200	
4 高齢者等の保 健及び福祉の向 上及び増進	(3) 児童福祉施設			330,000	81,100	28,000	215,000	215,000		5,900
	保育所	保育園整備事業	塩尻市	330,000	81,100	28,000	215,000	215,000		5,900
	小計			330,000	81,100	28,000	215,000	215,000		5,900
5 医療の確保	(1) 診療施設			13,000			13,000	13,000		
	その他	医療機器整備事業 自動現像機	塩尻市	13,000			13,000	13,000		

平成20年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一般財源
	(2) 特定診療科に係る診療施設			7,884						7,884
	その他	外出支援事業	事業者	7,884						7,884
	小計			20,884			13,000	13,000		7,884
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			18,200						18,200
	(1) その他の施設			18,200						18,200
	その他	小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	9,400						9,400
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	6,100						6,100
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	2,700						2,700
	小計			18,200						18,200
7 地域文化の 振興等	(2) その他			30,000	19,500	1,125				9,375
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750	1,125				4,125
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 木曾平沢修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750					5,250
	小計			30,000	19,500	1,125				9,375
9 その他地域の 自立促進に 関し必要な事 項	(1) 地域自治の推進			10,348						10,348
		檜川支所庁舎改修	塩尻市	10,000						10,000
		檜川地域審議会	塩尻市	348						348
	小計			10,348						10,348
総 計				1,514,963	176,200	30,625	1,047,200	497,500	6,500	254,438

平成21年度 概算事業計画

(単位：千円)

区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	概算 事業費	財源内訳						
					国庫 支出金	都道府県 支出金	地方債	過疎債	その他 特定財源	一般財源	
1 産業の振興	(1) 基盤整備			20,968	4,400	1,900	4,800		6,000	3,868	
	農業	有害鳥獣防除対策事業	塩尻市	668						668	
		むらおこし農家組合事業	農家組合	1,000						1,000	
	林業	公有林整備事業 除間伐、枝打 4.5ha	塩尻市	12,000	4,400	1,900	4,800			900	
		森林造成事業(フォレストコミュニティ 総合整備事業)20ha	塩尻市	1,300						1,300	
		緑資源機構造林整備事業 (コイノコ沢)	塩尻市	6,000					6,000		
	(8) 観光又はレクリエーション				42,900			40,000	40,000		2,900
		中山道街道施設整備事業 奈良井駐車場整備事業	塩尻市	40,000			40,000	40,000			
		木曾漆器祭・奈良井宿場祭	実行委員会	2,900						2,900	
	(9) その他				88,616						88,616
		地場産業振興センター事業	地場産業振興センター	80,000						80,000	
木曾漆器振興対策事業		工業協同組合等	7,158						7,158		
認定職業訓練事業		工業協同組合	1,458						1,458		
小計				152,484	4,400	1,900	44,800	40,000	6,000	95,384	
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1) 市道			10,000			10,000	10,000			
	橋りょう	川岸線道路改良事業(マキヤ沢橋架替) L = 4.5m W = 7.0m	塩尻市	10,000			10,000	10,000			
	(5) 電気通信施設の整備			63,000			59,800			3,200	
		その他情報化施設	情報通信基盤整備事業 光ファイバー敷設	塩尻市	63,000			59,800			3,200
	(9) 地域間交流				750						750
		国際交流事業	友好協会、 交流協会	300							300
友好都市交流事業		都市交流協会	450							450	

平成21年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支 出 金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一般財源
	(10) その他	交通確保対策 地域振興バス運行事業	塩尻市	13,797					2,000	11,797
	小計			87,547			69,800	10,000	2,000	15,747
3 生活環境の 整備	(1) 水道施設			130,000	39,000		91,000			
	簡易水道	簡易水道施設整備事業(楢川・贅川) PCタンク工事、管路接続工事	塩尻市	130,000	39,000		91,000			
	(5) 住環境の整備			334,600	167,300		167,300	167,300		
	景観形成	街なみ環境整備事業 木曾平沢整備	塩尻市	334,600	167,300		167,300	167,300		
	(6) その他	除雪事業	塩尻市	7,000						7,000
	小計			471,600	206,300		258,300	167,300		7,000
5 医療の確保	(1) 診療施設			10,000			10,000	10,000		
	その他	医療機器整備事業 設備更新	塩尻市	10,000			10,000	10,000		
	(2) 特定診療科に係る診療施設			7,884						7,884
	その他	外出支援事業	事業者	7,884						7,884
	小計			17,884			10,000	10,000		7,884
6 教育の振興	(1) 学校教育関連施設			18,200						18,200
	(1) その他の施設			18,200						18,200
	その他	小学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	9,400						9,400
		中学校教育用コンピューター整備事業	塩尻市	6,100						6,100
		普通教室教育用コンピューター整備事業	塩尻市	2,700						2,700
	(3) 集会施設、体育施設等			5,000						5,000
	体育施設	運動場改修事業 グラウンド・フェンス改修	塩尻市	5,000						5,000
	小計			23,200						23,200

平成21年度 概算事業計画

(単位：千円)

区 分	事 業 名 (施設名)	事 業 内 容	事業主体	概 算 事業費	財 源 内 訳					
					国 庫 支出金	都道府県 支出金	地 方 債	過 疎 債	そ の 他 特定財源	一 般 財 源
7 地域文化の 振興等	(2) その他			58,000	38,750	1,125			150	17,975
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 奈良井宿修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750	1,125				4,125
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 木曾平沢修理修景事業	塩尻市	15,000	9,750					5,250
		重要文化財(建造物)修理事業 (贄川)	塩尻市	15,000	12,750				150	2,100
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業 (買上げ事業 平沢)	塩尻市	10,000	6,500					3,500
		重要文化財等保存対策調査事業 保存調査	塩尻市	3,000						3,000
	小計			58,000	38,750	1,125			150	17,975
9 その他地域の 自立促進に関し 必要な事項	(1) 地域自治の推進			348						348
		檜川地域審議会	塩尻市	348						348
	小計			348						348
総 計				811,063	249,450	3,025	382,900	227,300	8,150	167,538